

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 フリージア・マクロス

コード番号 6343 URL <http://www.freesiamacross-extruder.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥山 一寸法師

問合せ先責任者 (役職名) 会計責任者 (氏名) 浅井 賢司

TEL 03-6635-1833

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,984	△10.3	△15	—	△37	—	28	△84.6
28年3月期第1四半期	2,211	△6.7	159	—	157	—	183	—

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 △194百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 172百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	0.06	—
28年3月期第1四半期	0.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	18,995	—	8,412	—	—	28.7
28年3月期	18,747	—	9,116	—	—	29.4

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 5,446百万円 28年3月期 5,518百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	—	—	0.05	0.05
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.05	0.05

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	11,000	7.5	800	△24.4	800	△21.1	200	△21.1	0.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	450,993,208 株	28年3月期	450,993,208 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	885,895 株	28年3月期	884,215 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	450,107,500 株	28年3月期1Q	450,119,952 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善し、設備投資の持ち直しの動きが見られるものの、円高の進行による輸出の減少、個人消費の低迷など景気は弱含みになっております。また中国をはじめとする世界経済の減速懸念など先行きは不透明な状況にあります。

かかる情勢の下での当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）の経営成績は、売上高は、1,984百万円と前年同四半期に比べ227百万円（10.3%）減少しました。営業損失は、15百万円（前年同四半期営業利益159百万円）となりました。経常損失は、37百万円（前年同四半期経常利益157百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、28百万円と前年同四半期に比べ155百万円（84.6%）の減少となり、東北の復興による特別需要部分を除いては、ほぼ例年の第1四半期連結累計期間並みの実績数値となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①製造供給事業

本事業においては、前第1四半期連結累計期間においては東北の復興需要により型枠製造売上が伸長していたため、当第1四半期連結累計期間においては前年同四半期と比較してプラスチック押出機及び試験機などの売上は増加したものの、本事業に係る売上高は712百万円と前年同四半期に比べ378百万円減少し、セグメント損失は65百万円（前年同四半期セグメント利益197百万円）となりました。

②住宅関連事業

本事業においては、防蟻・防水・断熱工事等の住宅関連事業による売上高が増加したことを主要因として本事業に係る売上高は1,277百万円と前年同四半期に比べ84百万円増加し、セグメント損失は5百万円（前年同四半期セグメント損失93百万円）となり、その損失幅が縮小しました。

③投資・流通サービス事業

本事業においては、売上高は150百万円と前年同四半期に比べ5百万円増加し、セグメント利益は、50百万円と前年同四半期に比べ0.9百万円の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ248百万円増加し、18,995百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加などによります。

また、負債は、前連結会計年度末に比べ、951百万円増加し、10,582百万円となりました。主な要因は、長期借入金が増加したことなどによります。

この結果、純資産は前連結会計年度末に比べ703百万円減少し、8,412百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、最近の経済環境が不透明であり、かつ、当社連結各社の業績が期末日近くの数ヶ月に集中することが多いことから、現時点では見通しを作成しておりません。同期間については、見通しが得られ次第ご報告いたします。

また、通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月20日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,573,671	1,860,001
受取手形及び売掛金	1,323,431	1,305,739
たな卸資産	3,501,594	3,535,050
繰延税金資産	44,845	56,197
その他	957,298	881,393
貸倒引当金	△33,290	△28,344
流動資産合計	7,367,550	7,610,037
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,705,665	2,893,150
機械装置及び運搬具	1,249,947	1,353,703
土地	4,765,466	4,765,466
建設仮勘定	108,349	—
その他	154,758	155,242
減価償却累計額	△2,537,582	△2,595,071
減損損失累計額	△230,302	△230,302
有形固定資産合計	6,216,302	6,342,189
無形固定資産		
借地権	316,220	316,220
その他	29,663	29,288
無形固定資産合計	345,883	345,508
投資その他の資産		
投資有価証券	2,271,947	2,147,626
関係会社株式	2,155,269	2,160,087
長期貸付金	43,642	42,490
繰延税金資産	1,395	2,824
その他	364,882	364,145
貸倒引当金	△19,833	△19,760
投資その他の資産合計	4,817,305	4,697,414
固定資産合計	11,379,490	11,385,112
資産合計	18,747,041	18,995,150

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,438,549	1,382,787
短期借入金	1,239,920	1,042,886
1年内返済予定の長期借入金	818,918	1,037,122
1年内償還予定の社債	228,000	223,000
未払金	513,220	593,787
未成工事受入金	92,014	116,820
未払法人税等	267,813	306,745
完成工事補償引当金	30,856	27,820
賞与引当金	27,150	66,440
その他	849,732	1,070,843
流動負債合計	5,506,176	5,868,252
固定負債		
社債	400,000	341,000
長期借入金	2,768,011	3,472,304
繰延税金負債	315,149	275,385
退職給付に係る負債	30,530	30,875
負ののれん	221,528	216,052
その他	389,189	378,537
固定負債合計	4,124,409	4,714,154
負債合計	9,630,585	10,582,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,077,766	2,077,766
資本剰余金	973,816	973,816
利益剰余金	2,229,936	2,249,038
自己株式	△19,323	△19,358
株主資本合計	5,262,196	5,281,263
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	269,647	178,194
退職給付に係る調整累計額	△13,331	△12,469
その他の包括利益累計額合計	256,316	165,725
非支配株主持分	3,597,944	2,965,753
純資産合計	9,116,456	8,412,742
負債純資産合計	18,747,041	18,995,150

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,211,439	1,984,097
売上原価	1,191,182	1,157,513
売上総利益	1,020,256	826,584
販売費及び一般管理費	861,083	842,577
営業利益又は営業損失(△)	159,173	△15,992
営業外収益		
受取利息	291	730
受取配当金	22,361	5,210
負ののれん償却額	5,476	5,476
持分法による投資利益	874	13,788
その他	9,247	14,865
営業外収益合計	38,250	40,070
営業外費用		
支払利息	26,344	37,262
その他	13,331	24,150
営業外費用合計	39,675	61,413
経常利益又は経常損失(△)	157,748	△37,334
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	157,748	△37,334
法人税、住民税及び事業税	49,761	81,133
法人税等調整額	△11,852	△14,460
法人税等合計	37,908	66,673
四半期純利益又は四半期純損失(△)	119,839	△104,008
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△63,837	△132,223
親会社株主に帰属する四半期純利益	183,676	28,215

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	119,839	△104,008
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,419	△86,235
持分法適用会社に対する持分相当額	6,333	△4,356
その他の包括利益合計	52,752	△90,591
四半期包括利益	172,592	△194,600
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	236,425	△62,375
非支配株主に係る四半期包括利益	△63,833	△132,225

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	製造供給事業	住宅関連事業	投資・流通 サービス事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	941,539	1,178,995	90,904	2,211,439
セグメント間の内部売上高 又は振替高	149,212	13,912	54,067	217,192
計	1,090,752	1,192,907	144,971	2,428,632
セグメント利益又は損失(△)	197,209	△93,341	49,349	153,217

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	153,217
セグメント間取引消去	5,955
のれんの償却額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	159,173

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	製造供給事業	住宅関連事業	投資・流通 サービス事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	638,010	1,248,885	97,200	1,984,097
セグメント間の内部売上高 又は振替高	74,697	28,759	53,116	156,573
計	712,707	1,277,645	150,317	2,140,670
セグメント利益又は損失(△)	△65,035	△5,147	50,270	△19,911

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△19,911
セグメント間取引消去	3,919
のれんの償却額	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△15,992

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。